平成20年度（対19年度実績）

事　務　事　業　評　価　表

作成日　平成　20　年　5　月　26　日

部局名	上下水道局	所属名	建設課	所属長名	迫　秀信	電　話	483-6328

1．事務事業の位置付け・概要（ＰＬＡＮ）

コード	9061	事務事業名称	雨水施設整備事業	短縮コード	経常		臨時	9061

予算区分	会計	20	公共下水道事業特別会計	款	02	事業費	項	01	事業費	目	02	雨水施設費

区　分	☑ 自治事務　☐ 法定受託事務　☐ その他	根拠法令等	下水道法

事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）

公共下水道計画区域内の雨水を速やかに排除するため，雨水管渠の整備を図ることによって浸水被害を少なくすることを目的とする。

事務事業を取り巻く状況の変化　又、今後の変化の推測

事業開始当初は，降雨量３０㎜／ｈｒ対応だったが，雨水管渠の整備を５０㎜／ｈｒ対応にしたことで，都市型浸水被害及び道路冠水等が減少している。

総合計画の施策体系

５本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして
大項目（節）	05	下水道
中　項　目	01	下水道
小項目（施策）	02	雨水排水の整備
細　項　目	01	雨水施設の整備拡充
実施計画の計画事業	4502	公共下水道雨水施設整備事業

計画事業の位置付けの有無	☐	計画事業期間	平成11年4月　～　平成19年3月	計画事業費	千円

２．事務事業の目的・指標・実績（ＤＯ）

対象（誰を何を対象にしているのか）	公共下水道計画区域内の雨水排水。
手段（具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 雨水管渠築造（雨水本管及び雨水用マンホールの整備）。 ※平成20年度に計画していること： 同　上（企業会計に移行）。
意図（何を狙っているのか）	浸水被害の防止。
結果（どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外

区　分			単位	１８年度	１９年度		２０年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標１	公共下水道計画区域内の雨水排水	ｈａ	7.25	3.33	2.53	
	指標２						
	指標３						
活動指標	指標１	雨水管渠整備延長	ｍ	1,166	787	459	
	指標２						
	指標３						
成果指標	指標１	雨水管渠整備延長	ｍ	1,166	787	459	
	指標２						
	指標３						
上位成果指標	指標１						
	指標２						
	指標３						

コード	9061	事務事業名称	雨水施設整備事業	所属名	建設課

			単位	１８年度	１９年度		２０年度
				実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円	118,493			
		県	千円				
		地方債	千円	303,400	234,100	124,300	
		一般財源	千円			10	
		その他	千円	43,633	43,588	42,591	
	主な事業費の内訳			雨水排水整備工事 8件　383,886千円 調査及び設計委託 9件　7,558千円 計　391,444千円	雨水排水整備工事 6件　159,810千円 調査及び設計委託 9件　52,960千円 計　212,770千円	雨水排水整備工事 4件　79,748千円 調査及び設計委託 8件　27,585千円 計　107,333千円	企業会計に移行
人件費(B)			千円	83,266.9	48,205.2	51,111.7	0
トータルコスト(A)＋(B)			千円	548,792.9	325,893.2	218,012.7	0

３．事務事業の評価（ＳＥＥ）

評価類型	評価事項	評価区分	理由
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☑ 結び付いている ☐ 結び付くが見直しの余地がある ☐ 結びつきが弱い・ない ☐ 評価対象外事項	雨水施設整備事業は雨水排水の整備として，上位の施策に結びついている。
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している ☑ 達成していない ☐ 評価対象外事項	未整備地区及び浸水被害箇所の解消のためにも今後も続けていく必要がある。
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）	☐ 可能性はある ☑ 可能性はない ☐ 評価対象外事項	下水道法により，事業の実施は市が行うものと義務づけられている。
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☑ 現状のままでよい ☐ 見直す必要がある ☐ 評価対象外事項	現状の「対象」・「意図」で雨水排水の整備に結びついている。
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性がある ☑ 効率性向上の可能性がある ☐ 両方可能性がある ☐ 可能性がない	
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等 ☐ 臨時的任用職員等の活用 ☑ ＩＴ化等業務プロセスの見直し ☐ 受益者負担の見直し ☐ 類似事業との統合・役割見直し ☐ 上記以外の方法	設計・積算業務に際しては，省力出来るよう委託業務の効率化（設計･積算業務に即時適用）を図り，工法等についてもコスト縮減による経済効果を図っていく。 類似事務事業名称 1：　実施主体（所管部署）： 類似事務事業名称 2：　実施主体（所管部署）：
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☑ ある ☐ ない	各担当の設計・積算業務の効率化を図るため，委託範囲を追加（積算基礎資料）する必要から経費が増となる。

コード	9061	事務事業名称	雨水施設整備事業	所属名	建設課

今後の方向性

⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。

- ☑ 改革・改善して継続
  - ☑ 手法プロセスの改革・改善
  - ☐ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止
- ☐ 休止
- ☐ 現状のまま継続

委託範囲を追加することにより，設計・積算業務に即時適用できるよう図っていく。

⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。

		経費		
		削減	不変	増加
成果	向上	☐	☐	☑
	不変	☐	☐	☐
	低下	☐	☐	☐

委託範囲を追加することに伴う経費の増加が見込まれるが，設計・積算業務に関する省力化により成果の向上を図る。

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見）
※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など

雨水管整備をすることにより，家屋等への浸水被害，道路冠水の減少等の都市型水害への対応を図って欲しい。

所属長コメント

設計・積算業務委託を省力化できるよう委託の効率化を図り，市街地等の都市型浸水被害の減少や，雨に強い都市づくりを目指す観点から，継続が必要と思われる。

評価調整委員会評価

- ☑ 改革改善して継続
  - ☑ 手法プロセスの改革・改善
  - ☐ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止
- ☐ 休止
- ☐ 現状のまま継続

委託範囲の追加によって効率性の向上を図るべき。